

はじめに

地図帳に記されている情報の多くは、一種の「記号」であって、文章による説明ではない。したがって、地図を見慣れている者とそうでない者との間には、地図帳の1ページを見ても、吸収する情報量やそのスピードにおいて大きな開きが生じ、これがそのまま「地理が異常にできる者」と「苦手とする者」との差になっているのが実情であろう。ここに、「地図帳に記載されている情報を、誰がみても理解できるよう、しかも興味をいだかせつつ伝達する」ための媒介物の存在が要求されてくる。換言すれば、「地図や地名が持っている伝達事項をわかりやすく翻訳したもの」の必要性である。

本書はそのような要求に応えるべく、地図に記された地名について最も適切な形で、これまで地図を見ても興味を覚えることのなかった諸君はもちろん、地理を得意とする者にとっても、さらに深い関心が抱けるよう、企画、編集されたものである。

1986年に刊行された『地図と地名による地理攻略』初版はこのようなねらいで、河合塾生OB・OGの協力によって作成されました。1992年には、本書の生みの親である権田先生が病で倒れ、不帰の人となりましたが、本書は受験生には圧倒的に支持され、その後も版を重ねました。

この間に、国家の統合〔南北イエメンの統一（1990年）、東西ドイツ（1990年）〕、連邦の解体〔ソ連（1991年）、チェコスロバキア（1993年）、ユーゴスラビア（1991～2006年）〕、国家の独立〔ナミビア（1990年）、エリトリア（1993年）、アンドラ（1993年）、パラオ（1994年）、東ティモール（2002年）〕、その他首都移転、地名変更など、本書の表記を変更しなければならない国際情勢の変化が数多く生じました。当初ロットリングを使い手書きで作っていた地図は、第三版以降はデジタル編集されるようになりました。ネットのサイトを通じて本書を紹介していただいたり、再版を望む声を寄せていただくようになり、今回ようやく四訂版の刊行の運びとなりました。本書の作成に協力いただいた坂口克彦さんをはじめとする数多くの河合塾OB・OG、著者側の数々の要望を受け入れていただいた河合出版の編集担当各氏に深く感謝します。

著者しるす

本書の特徴と使い方

□ 地図と地名解説を見開きで示す

自然地名や都市名について、地図上の位置と受験に必要な最小限の知識を見開きで対応させました。授業や問題演習などで得た新しい知識なども地図に書き込むなど、サブノート替わりに活用して下さい。

□ 自然地名をセットで覚えられよう「イモヅル」で結ぶ

山地は河川の境界を形成し、平野や盆地は河川によって結ばれることが多いなど、個々の地名をバラバラに覚えるのではなく、互いに関連させ、地域的まとまりで押さえることが重要です。一つの地名を覚える時に、関連する地名もイモヅル式にチェックして下さい。また、イモヅルで結ばれた地名がそれぞれどのような関係にあるかも考えてみて下さい。

□ 都市は河川との位置関係を重視

都市の発達には、河川交通が重要な役割を果たしている場合が少なくありません。都市相互の関係を理解する上でも、河川との位置関係をしっかり押さえることが重要です。

□ 日本の地名は関連事項別にまとめる

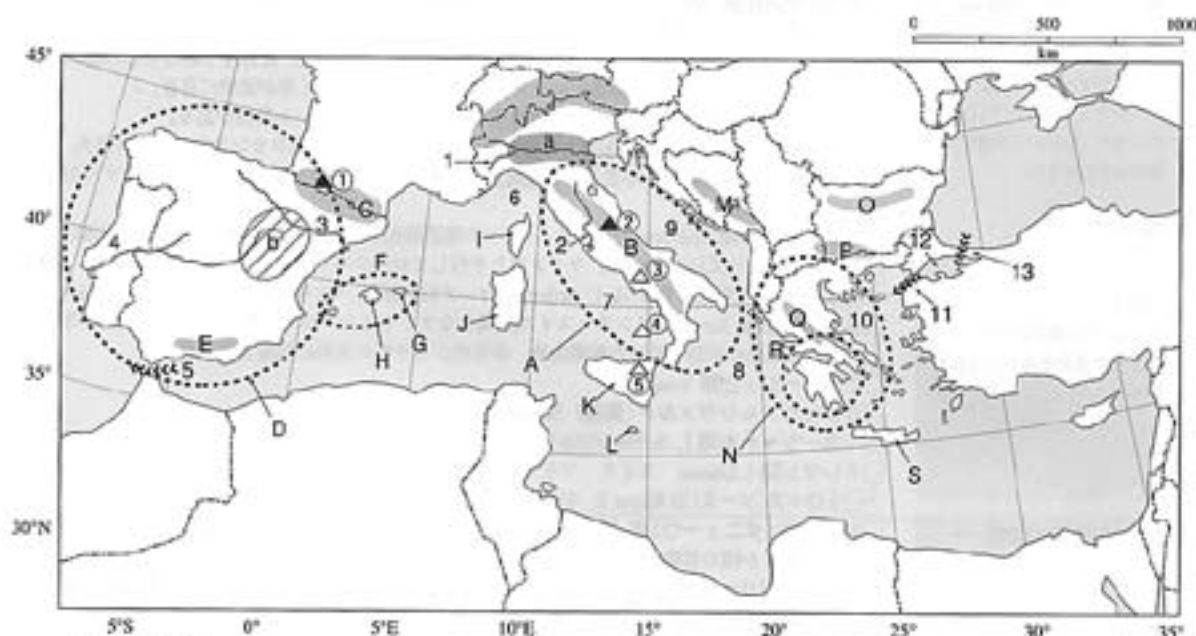
入試で扱われる日本の地名は、個別の知識よりは、どのようなタイプの地名なのかがポイントになることが多いことから、自然地名については種類別にまとめ、典型地形の例を示しました。また都市名は都市の起源や機能などにも注目して、関連項目別にまとめました。

□ 地域に関連する話題をコラムとして掲載

それぞれの地域をより深く理解するために、地域と関わりの深い話題をコラムの形で示しました。

【地名表記について】

- (1) 外国地名については、帝国書院「新詳高等地図」最新の版に準じ、現地音表記を原則とし、欧文表記も可能な限り現地語表記に基づいていますが、日本語として定着した慣用度の高い地名は例外とし、一部かっこ書きで別名表記としました。
- (2) 日本語表記においては、原則としてBはバ行、スペイン語圏を除くVはヴ行の表記としています。
- (3) 国名・首都名の表記は外務省「世界の国一覧表」に基づくため、現地音表記の原則からはずれるものがあります。
- (4) ローマ字文化圏でない現地語はローマ字に置き換えた表記をとっています。
- (5) 中国、韓国・北朝鮮の地名はかっこ書きで漢字表記を付記し、日本語読みの慣用度の高いものは「和名索引」で検索できるようにしました。



▲①アネト山 (3404m)

△③ヴェズヴィオ山 (1281m)

△⑤エトナ山 (3323m)

▲②コルノ山 (2912m)

△④ストロンボリ山 (926m)

▲……活火山 △……火山



《ヨーロッパの典型地形》

【ケスタ】

- 1 パリ盆地
- 2 ロンドン盆地

【フィヨルド】

- 3 ノルウェー海岸
- 4 スコットランド
- 5 アイスランド北部

【リアス式海岸】

- 6 ガリシア海岸 (リアス・バハス)
- 7 ダルマティア海岸

【エスチュアリー】

- 8 エルベ川
- 9 ヴェーザー川
- 10 テムズ川
- 11 セーヌ川
- 12 ロアール川
- 13 シロンド川

【カスプ状デルタ】

- 14 エブロ川
- 15 テヴェレ川

【氷河湖】

- 16 ボーデン湖
- 17 ヌーシャテル湖
- 18 レマン湖

【地溝】

- 19 ライン地溝帯
- 20 スコットランド地溝帯 (ローランド)

【カルスト地形】

- 21 カルスト地方

イタリア半島とイベリア半島

長靴の形をしたイタリア半島が中央部を新期造山帯のアペニン山脈が骨格のように通っているのに対し、四角形をしたイベリア半島は中央部に広大なメセタと呼ばれる古期造山帯の台地状の高原があり、北にはピレネー山脈、南にはシエラネバダ山脈と3000mを超える新期造山帯の山脈で囲まれ、大膽的な特徴を示す。

- **A イタリア半島 Italian Pen.** 地中海に突出した長靴形の半島。南端を北緯40度、北端を北緯45度線が通過。半島中央を新期造山帯のアペニン山脈が走り、急峻で平野に乏しい。
 - **1 ポー川 Po R.** イタリア最大の河川で大平原をつくる。上流部のトリノは谷間集落。
 - **a バダノ=ヴェネツィア平原 Padana-Veneta** ポー川流域に広がるイタリア最大の平野。左岸の一部はロンバルディア平原と呼ばれる。ヨーロッパには珍しいC₃気候で茶作も可能。
 - **3 アペニン山脈 Appennino** アルプス=ヒマラヤ造山帯に属する新期褶曲山地。山脈からははげれるが、同山系にはポンペイを壊滅させたヴェズヴィオ山等の火山が多い。
 - **2 テヴェレ川 Tevere R.** ローマ市内を貫流。典型的カスプ(尖)状デルタを形成。
- **C ピレネー山脈 Pyrenees** フランス・スペインの国境となるアルプス=ヒマラヤ山系の新期山脈。
- **D イベリア半島 Pen. Iberica** 半島中央を北緯40度、西経5度線が通過。欧州最西端ロカ岬は西経5°30'で、ユーラシア最西端。「大地ここに終わって海始まる」の詩句がある。
 - **b イベリア高原 Iberian Plat.** 平均標高600mのメセタと呼ばれる水平地帯の基盤をもつ高原が広がる。気候は半乾地、ステップが広い地域を占める。
 - **3 エブロ川 Ebro R.** メセタ(高原)地帯のカタルーニャ地方を貫流。
 - **E シエラネバダ山脈 Sierra Nevada** 新期山脈。アメリカ合衆国西海岸に同名山脈があり注意。
 - **4 テージョ(タホ)川 Tago R.** イベリア半島最大の河川。ポルトガルではテージョ川。スペインではタホ川と呼び名が変わる。

西地中海

イタリア半島・シチリア島・チュニスを結ぶ線の西側で、リグリア海、ティレニア海を含む。大西洋とつながるジブラルタル海峡は最狭部は15km、最深部は2942mで、表面潮流は大西洋側から毎時4kmの速度で流れ込み、下層では地中海側から流れ出す。

- **5 ジブラルタル海峡 Str. of Gibraltar** スペイン・モロッコ間を隔てる。北岸には英領ジブラルタル、南岸にはスペイン領セウタが存在。
- **F バレアレス諸島 Is. Baleares** マリヨルカ島、メノルカ(ミノルカ)島などを含む。
 - **G メノルカ(ミノルカ)島 Menorca I.** スペイン領。マリヨルカ島と共に、山がちで風光明媚な避暑地として知られる。メノルカとは「小さい島」の意。
 - **H マリヨルカ島 Mallorca I.** スペイン領。音楽家ショパンが滞在。バレアレス諸島の主要二島の1つ。
- **I コルス(コルシカ)島 Corse I.** フランス領。ナポレオンの生地として著名。フランスで最も経済的に遅れ、移牧を伴う地中海式農業地帯で、本土への出稼ぎ者も多い。
- **6 リグリア海 Ligurian Sea** モナコ=コルス島=イタリア半島のビザを結ぶ。
- **Jサルデーニャ島 Sardegna I.** イタリア領。地中海第二の面積を有する大島。鉛・亜鉛・銀等を産する。
- **K シチリア島 Sicilia I.** イタリア領。地中海最大の島。メッシナ海峡を挟んでイタリア半島に對峙。
- **L マルタ島 Malta I.** イタリア系住民が多いが英領で、軍事(空軍)基地だった。
- **7 ティレニア海 Tyrrhenian Sea** イタリア半島とシチリア、サルデーニャ、コルスなどの大島群に囲まれる。北部にはナポレオンが最初に流されたエルバ島や、デュマの小説で知られるモンテクリスト島がある。ローマ、ナポリ、パレルモ等が面する。

東地中海

イタリア半島・シチリア島・チュニスを結ぶ線の東側で、アドリア海、エーゲ海を含む。スエズ運河で紅海、ダーダネルス海峡でマルマラ海、さらにボスポラス海峡で黒海につながるが、広義の地中海には黒海までを含む場合もある。西地中海に比べ、ヨーロッパ側の海岸線は複雑で島嶼も多い。

- **8 イオニア海 Ionian Sea** イタリア半島の長靴の地につく部分に位置する海域。北部に南北問題解消のために作られた暫定島の立地することと知られるタラント湾がある。
- **9 アドリア海 Adriatic Sea** 北岸には漁入りが多く複雑なデルマティア式海岸。冬には北東からの地方風ボラ。
- **Mディナルアルプス山脈 Dinaric Alps** 北部に石灰岩台地カルスト地方、南部に沈水海岸デルマティア地方を持つ新期褶曲山地。
- **Nバルカン半島 Balkan Pen.** アジア・ヨーロッパを結ぶ交通路にあたり、南東端にイスタンブールがある。民族構成も複雑で紛争が頻発。「ヨーロッパの火薬庫」とも言われた。
 - **O スターラ(バルカン)山脈 Stara Pla. (1)**
 - **P ロドピ山脈 Rodopi Pla. (1)**
 - **Q ピンドス(ピンダス)山脈 Pindos** いずれもアルプス=ヒマラヤ造山帯の一角をなす。
 - **R ペロポネソス半島 Peloponissos Pen.** 古代ドーリア文明の都市スパルタがあった。
 - **10 エーゲ海 Aegean Sea** アテネ、イズミルなどは沈水海岸の港。エーゲ文明が栄えた。
 - **S クレタ島 Kiti I.** クレタ(ミノス)文明が栄え、クノッソス遺跡が中央部に存在する。
 - **11 ダーダネルス海峡 Dardanelles Ch.** 南岸に木馬の故事で知られるトロイ遺跡がある。
 - **12 マルマラ海 Marmara Denizi** 西をダーダネルス、東をボスポラス海峡で挟まれた内海。
 - **13 ボスポラス海峡 Bosphorus Ch.** ヨーロッパとアジアの境界をなす。最も狭い所は幅1kmに満たない。第一、第二ボスポラス大橋が架かる。イスタンブールの市街地はヨーロッパ側の西岸にあり、トルコはアジアとヨーロッパ両大陸にまたがる。